



ひびき

Letter of the M.Y. elementary school
南山田小学校だより

～ ともだちいっぱい かがやく子 ～

学校通信 NO.316
令和4年度10月号
令和4年9月30日

運動会に向けて ～テーマ作成の裏側～

校長 鈴木 智彦

台風14号の影響は、校庭に置いてある1年生のアサガオにも表れていました。アサガオの蔓が絡まっていることもあって、いくつかの鉢がまとめて倒れていたのです。登校時、困った顔で見ている1年生。しかし、その横で上級生が何人か、支柱を直しながら鉢を並べ直していました。「1年生に兄弟がいるから直してあげるんだ。」そう言いながら…。

問題場面に出会ったとき、「自分はどのように行動するか」は、決して数値に反映されるものではありません。この日の上級生の行動から、数値以上に重要視されている「生きていく上で必要な資質・能力」の一端を、垣間見ることができました。

今年の運動会のテーマは「深まる絆 全力・笑顔あふれる 運動会」です。そこに向けて、当初、子どもたちの運営委員会では三つの案を考えました。



©尾田栄一郎/集英社

- ①走りだせ！ 全力で進め 運動会
- ②みんなで協力 力を合わせて 運動会
- ③深まる絆 笑顔あふれる 運動会

①は「覚えやすい、勢いがある」 ②は「一人じゃない、みんな」 ③は「運動会で絆が深まる、楽しさが伝わる、明るい」等が意見としてあがりました。しかし、どれも抽象的で具体的な子どもたちの姿がみえません。そこで、キーワードとして ①全力 ②絆 ③笑顔 をもう少し掘り下げてみることにしました。

翌日の中休み、児童会議室に集まった運営委員のメンバーは、それぞれの考えを話し合い、キーワードを整理しました。

- ①全力…前との比較 練習した最高のもの 参観者に見せる最高の姿
- ②絆…みんなで取り組む やることは違っても目指すところは同じ
- ③笑顔…演技を終えた達成感 今までの中で一番 全力の結果

そして、運営委員会が考えた原案は「深まる絆 全力・笑顔あふれる 運動会」となり、各クラスの代表が集まる代表委員会でも、この原案が採用されました。

コロナ前と比べたら、運動会に物足りなさを感じる方がいらっしゃるかもしれませんが、残念ですが、まだ来賓として地域の方をお呼びすることもできません。それでも、子どもたちは、様々な思いをテーマに込めて運動会に取り組みます。当日に向け、健康管理や子どもたちのモチベーション等、ご家庭でのご支援をいただく場面も多いと思います。運動会に向けた様々な取組にご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。